

小さなお友達、遊びにおいで!

人形劇団 ひぽぽたあむ

かえるくん・かえるくん



昨年度、保育士養成課程が設置されたことに伴い、2号館1階に子育て支援室マーガレットルームが整備されました。今年度5月からは週に2日、マーガレットルームを親子の遊び場として開放しています。小さな子どもと保護者の方が集い、学生と触れ合う機会も増えてまいりました。今回は、保育を学ぶ学生とマーガレットルーム利用者の方、一般の方、と一緒に人形劇を楽しみましょう。皆様のお越しをお待ちしています。

～作品紹介（上演時間 50分）～

「今日とはとくべつなひ」だと野うさぎくんに聞いたかえるくんが「とくべつ」を探しにでかけるお話と、森の中で新しい友達に出逢うお話の2本立て。原作はオランダの美しい絵本です。小さな人たちも安心して観られるように静かなピアノ曲にあわせて丁寧に作りました。

原作／マックス・ベルジュイス 翻訳／清水奈緒子 (セーラー出版刊)

演出・美術／山根裕子 音楽／足立裕子

出演／永野むつみ 松原由利子 大澤直

○日時：2020年1月11日（土）第1ステージ 12:30～13:20 第2ステージ 14:00～14:50

（注）12月21日（土）の開催予定でしたが、日程変更になりました。

12:00 第1ステージ受付 親子（25組程度）と学生

13:30 第2ステージ受付 親子（25組程度）と学生、一般の方（20名程度）

○受付場所：聖心女子大学 2号館 1階 子育て支援室 上演時間10分前になりましたら、会場へご案内します。

渋谷区広尾4-3-1（アクセスマップ <https://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/access/>）

○参加費：お子様連れの方はマーガレットルーム利用料1家族200円（第1ステージ・第2ステージ）
大人のみのご参加は無料（第2ステージ）

○申込み期間：2019年12月4日（水）～12月27日（金）

○申込方法：以下のサイトにアクセスし、申し込みフォームよりお申し込みください。



<https://forms.gle/UEnohyUUM5p8mxWP6>

お問合せ：子育て支援室マーガレットルーム（火）（木）10時～15時開室
03-3407-5852（直通）E-mail：margaret-room@u-sacred-heart.ac.jp

「受けとめる力を信じて」

人形劇団ひぽぽたあむ
永野むつみ



客席が急にざわつくときがあります。「かえるくん・かえるくん」友だちとの別れのシーンです。ドラマとは関係のない話をしだす子どもや、さっきまで子ども席に一人で座っていたのに、おかあさんのところにつっと寄って行く子ども。お母さんの胸やひざに顔をうずめてしまう子どもも。

「一番いいところなのに」「さっきまであんなに集中して観ていたのに」「あれ、飽きちゃったのかな」大人は不安になったり心配したり。でも大丈夫。たぶんドラマに飽きたのではなく、むしろ心いっぱいかえるくんのことを心配してくれているのでしょう。

小さな人たちは、<居ても立ってもいられない>ときは<居ても立ってもいられない>とからだで表現するようです。

そんなときはただ抱きとめてください。どうぞ言葉で慰めないでください。そして彼らが、自分の意志で舞台のほうへからだを向けなおすのを待ってあげてください。

芝居は、年齢を問わず観客一人一人に等しくメッセージを届けるものなので。ときに大人の助けも得ながら、劇場空間を自分の意志で生きること、二つの目、一人の人格、新しい市民として生きていることを見守ってほしいと思います。

小さな人たちにとって一番最初に接する文化は、お母さんであり家族なのだという意味を近ごろとみに感じています。子育ての術が何か他にあるように思われがちなのですが、子育てでまず問われるのは、大人がどんな文化のなかに身を置くかということではないのでしょうか。

(「鳥取県アートスタート」講演・公演パンフ寄稿文)

<永野むつみブログ＝「59点ママでいいじゃない」もぜひお目通しください>